

民生委員制度創設100周年のシンボルマークが決まりました！

民生委員制度は、来年の平成29年に制度創設100周年を迎えます。これは、民生委員制度の源である岡山県の「済世顧問制度」が大正6（1917）年から数えて100年を迎えることによります。

民生委員が兼ねている児童委員の制度も、制度創設70周年となります。

この100周年という大きな節目を契機として、さまざまな記念事業を検討していますが、民生委員・児童委員活動の一層の充実・発展に向け、なによりその活動を広く社会にアピールしていくことをめざしています。

その活動の一環としての、シンボルマークが決定しました。 →



今年もふれあい花壇に花を植えました！

6月4日（土）に、東伊那公民館の前の花壇に、小学校一年生の皆さんと一緒に、いろいろな花を植えました。お立ち寄られることがありましたら、ご覧になって下さい。



民生委員のシンボルマークであるハートでできた四葉を囲むグリーン色の円は、人々・地域の暮らしと成長を表し、100年の歴史を表す「100」の文字のオレンジ色が、やさしさとふれあいを意味しています。

「これからも地域とともに」というキャッチコピーには、これまで地域とともに100年間歩んできた実績を背景に、これからもずっと地域の方々と共に歩み続けるという、民生児童委員の想いが込められています。

敬老会 6月18日

地区の75歳以上の方々を招待し、当日の出席者は93名でした。

来賓として駒ヶ根市長もおいでになり、しばしの歓談に参加されました。

来年も、多くの方々のご参加を希望します。



↑ 箱畳が演じた悪魔払い



喜寿（77歳） 対象者 16名
米寿（88歳） 対象者 10名
でした。